



2025年8月期

第2四半期決算説明資料

2025年4月11日（証券コード 5129）



クラウドネイティブなテクノロジーをさらに進化させ 世界的に広がる生成AIビジネスを成長の起爆剤として FIXERは生まれ変わります

生成AIは単なる技術革新以上の変革をもたらし、日本の職場にある閉塞感を根本から変える可能性を秘めています。

面倒な文章作業、時間を奪いつづける管理タスクを迅速に処理し、私たちが本当に重要な仕事に集中できれば、日本からたくさんの世界一が生成されると我々FIXERは信じております。

クラウドと生成AIによって日本社会が進化していくとき、まずは我々FIXER自身が生成AIによって生産革命を起こし、かつての生産性を上回っていくことがつぎの成長のための大切な一歩であると考えております。

目次

- ・ 2025年8月期第2四半期サマリー P.3
- ・ 2025年8月期第2四半期業績 P.6
- ・ 事業ハイライト P.14
- ・ GaiXerの進捗 P.21
- ・ AI SaaS元年の成長戦略 P.27
- ・ Appendix P.34



01

2025年8月期第2四半期サマリー

2025年8月期第2四半期サマリー (1/2)

① 戦略と事業の方向性

FIXERは、クラウドネイティブなテクノロジーを活用し、GaiXer事業をビジネスの中心に据え、AI SaaS分野でのマーケットリーダーとなることを目指しています。生成AI技術の活用により、日本の職場環境における業務効率を根本的に改善することを目標としています。

② 第2四半期の業績ハイライト

- 前期に売上を牽引した「HER-SYS」事業を除いた売上は、第2四半期に伸長
- 売上は計画対比で下回ったものの、販売費および一般管理費の圧縮に成功し、営業利益や経常利益、純利益は計画を上回った
- 従業員数は378名（2025年4月1日時点）となり新卒社員の入社によって増加
- 自己資本比率は90.1%と高水準を維持

③ 事業ハイライト（医療DXへの取り組み）

- 厚生労働省が推進する「医療DX令和ビジョン2030」の中で医療DXの推進に積極的に取り組んでいる中、藤田学園との合弁会社設立を協議中
- 医療文書の自動生成、電子カルテ情報の共有を含む新しい医療情報プラットフォームを構築推進
- 医療DX市場への参入を本格化し、2030年には医療DX市場が約5,207億円規模^(※)に拡大する市場に参入

GaiXer
Enterprise AGI Platform

REVENUE GROWTH
IN Q2

REVENUE SURGED IN Q2

AIMING TO BECOME
THE MARKET
LEADER
IN AI SAAS

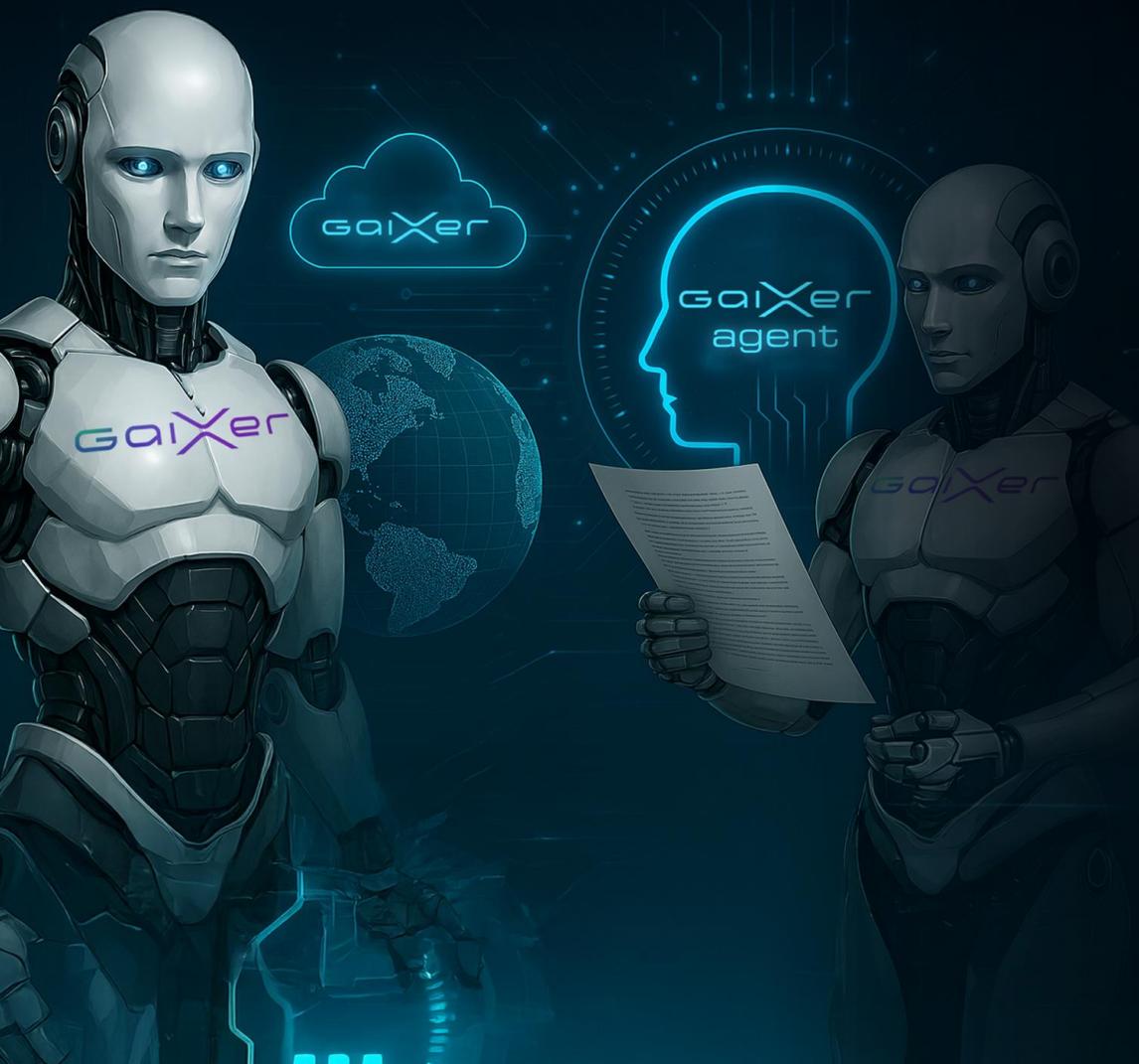
+ OPERATING & ORDINARY
PROFIT ABOVE PLAN

+ NET INCOME BEAT
EXPECTATIONS



※ 出典：富士経済「2023 医療・ヘルスケアDX関連市場の現状と将来展望」から抜粋（令和6年3月20日）

2025年8月期第2四半期サマリー (2/2)



④ GaiXerの進展

- 生成AIプラットフォームGaiXerの性能向上を推進
- マルチモーダル対応や「ISMAP-LIU」の特別措置サービスリストに登録
- 導入実績は100社を超え、行政・自治体や企業への導入が完了
- 鈴鹿工業高等専門学校や三重県など新たな教育機関や行政機関へ導入

⑤ AI SaaS市場における成長戦略

- 法人向けの生成AI市場は2028年までに1,212億円^(※)に成長するとの予測
- 生成AIを活用した業務プロセス改善により生産性向上に寄与
- 自治体や医療業界でのAIエージェント導入事例を紹介 (P32~33)

⑥ 活用するAI技術

- o3-mini、Claude 3.7 Sonnet、Gemini 2.0 Flashなど、最新のLLM搭載により生成品質の質的進化を継続

※ 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所「法人向け生成AI導入支援サービスのカテゴリ別中期予測」(令和6年8月7日)

02

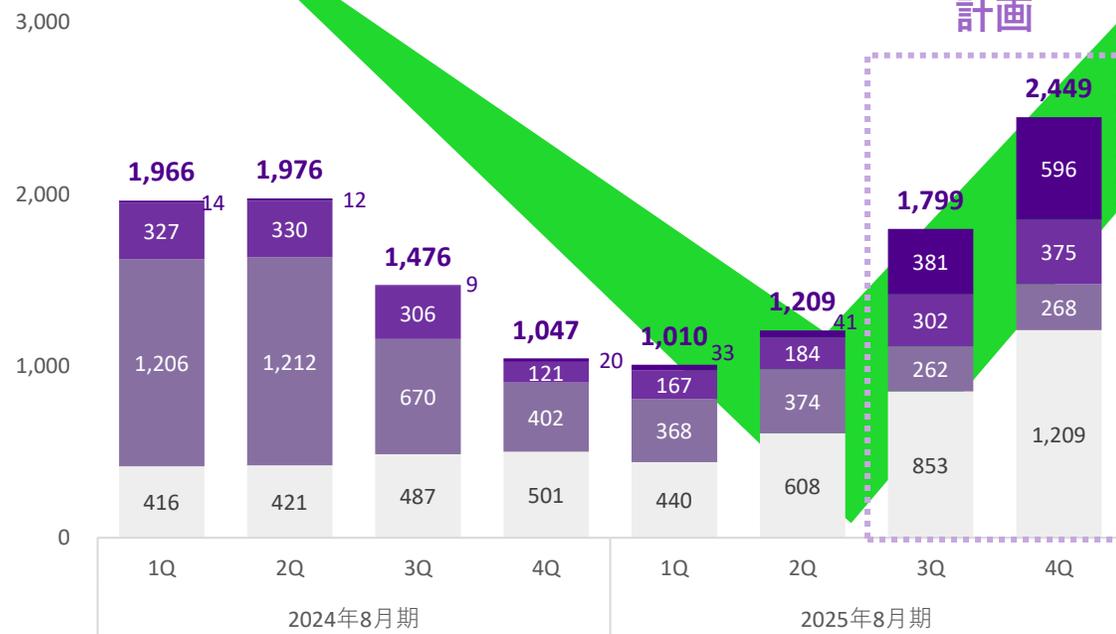
2025年8月期第2四半期業績

業績推移ハイライト

エンタープライズクラウドプロバイダーから GaiXerによる生成AIプロバイダーへの進化

- SaaS
- マネージドサービス
- リセール
- プロジェクト型サービス

売上（単位：百万円）



4 Q エンタープライズAGI

エンタープライズシステム向け
GaiXerによるCI（※2）の進化

3 Q 生成AIのエージェント化

行政・金融・医療の世界に
GaiXer Agent（※1）を提供

2 Q GaiXerの拡大期

パートナー戦略による拡販
生成AIで医療事務のDX

1 Q HER-SYSから医療DXへ

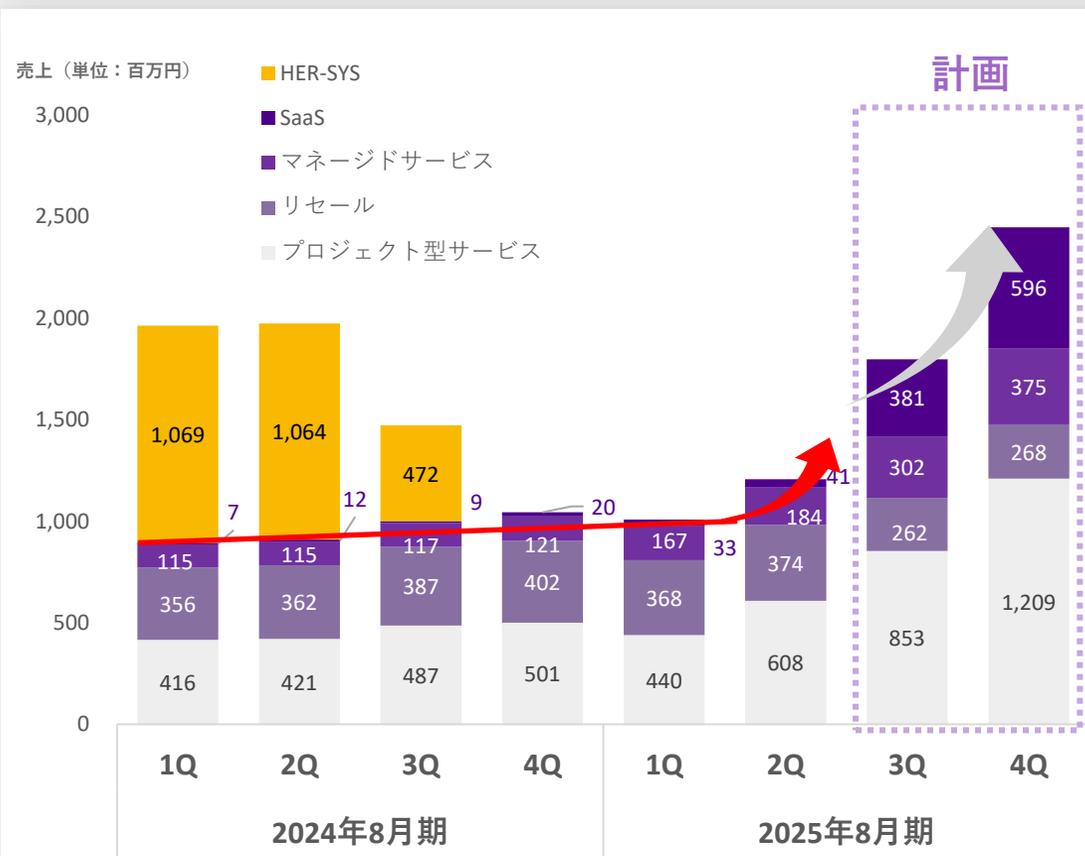
HER-SYSで培った
技術で医療DXを支援

※1 GaiXerを生成AIのエージェントサービスとして提供

※2 CI（Cloud Integration）は、クラウドサービスを統合する技術

業績推移の概況

HER-SYSの売上減少影響は第2四半期で底打ちし、次の成長軌道に入った



<概況>

- 売上は1Qで底打ち。2Qの売上は1Q対比で増加
- 3Q以降の成長を実現すべく資本・業務提携を含めた施策を展開中
- 2Qで前期HER-SYSの業績減少分の巻き返しに成功

<ビジネスモデル別ハイライト>

プロジェクト型サービス	大型PJの継続
リセール	既存取引先との取引が安定的に推移
マネージドサービス	大規模イベント案件が継続
SaaS	3Q以降に向けた各種取り組みに着手

業績概要（2025年8月期業績予想に対する実績）

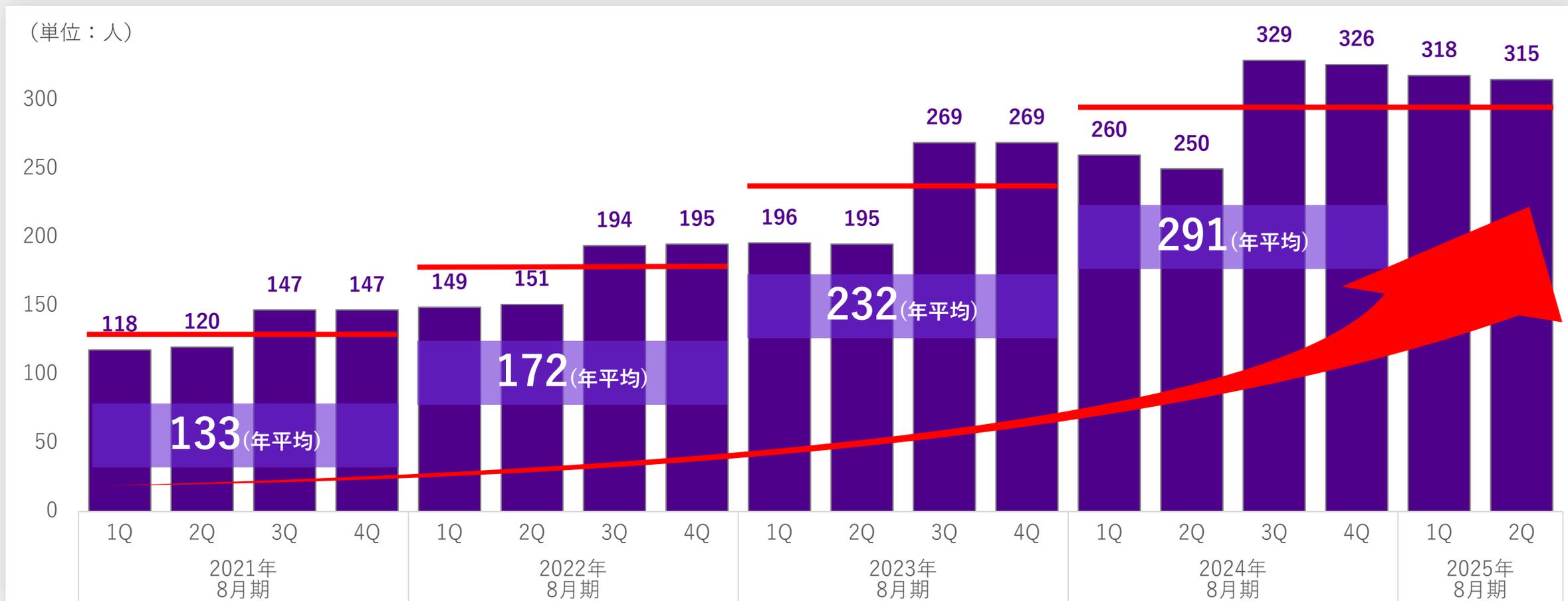
今期業績で想定していた販売費および一般管理費を大幅に圧縮し、計画時よりも売上が△142百万円となるも、営業利益は計画比で+135百万円、経常利益は計画比で+142百万円、半期純利益は+296百万円となった

（単位：百万円）

	2025年8月期 第2四半期累計（計画）	2025年8月期 第2四半期累計（実績）	計画 増減
売上高	2,362	2,219	△142
売上原価	1,821	1,834	+12
売上総利益	540	385	△155
売上総利益率	23%	17%	△6pt
販売費および一般管理費	1,202	912	△290
営業利益	△662	△527	+135
営業利益率	△28%	△24%	+4pt
経常利益	△662	△519	+142
経常利益率	△28%	△23%	+5pt
法人税等合計額	-	△153	△153
半期純利益	△662	△366	+296
販管費率	51%	41%	△10pt

従業員数の四半期推移

従業員数は新卒社員が入社する3Qに毎年大きく増加。年平均約60名のペースで増員を確保
4月に新卒エンジニア54名が入社し、4月1日時点の社員数は378名



主要費用科目の四半期推移

外注費は前期に引き続き医療DX強化に向けた専門人材の拡充、新規取引先の拡大により+13百万円
インセンティブ還元による費用調整あるも、広告宣伝費はGaiXer拡販のために引き続き確保

(単位：百万円)

	2024年8月期				2025年8月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
人件費	482	456	500	561	561	543
地代家賃	125	125	127	127	127	127
外注費	164	132	97	75	93	107
広告宣伝費	63	20	10	3	26	4*

※インセンティブ還元による
費用調整あり

貸借対照表

自己資本比率は90.1%と引き続き高水準を維持

(単位：百万円)

	2024年8月期 期末	2025年8月期 第2四半期末	増減
流動資産	5,854	5,261	△593
固定資産	735	854	+119
資産合計	6,590	6,116	△473
流動負債	703	598	△104
固定負債	10	6	△3
負債合計	713	605	△108
株主資本	5,875	5,509	△365
新株予約権	1	1	△0
純資産合計	5,877	5,511	△365
負債純資産合計	6,590	6,116	△473
自己資本比率	89.2%	90.1%	+0.9pt

キャッシュ・フロー計算書

法人税等の支払いが還付ポジションに影響を与えたことなどの要因により、前期比の営業キャッシュ・フローは△296百万円となった。今後は営業効率の改善と事業の拡大を通じて、キャッシュ・フローの改善と持続可能な成長を目指す

(単位：百万円)

	2024年8月期 第2四半期	2025年8月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△620	△916	△296
投資活動によるキャッシュ・フロー	2	8	+5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16	△3	+12
フリー・キャッシュ・フロー	△618	△908	△290
現金及び現金同等物の期末残高	4,200	3,243	△957

03

事業ハイライト

医療DXに関する取り組み

厚生労働省の「医療DX令和ビジョン2030」(※1)への大きなトレンドの中で、医療DXにおける先進的な病院(※2)を系列に持つ藤田学園と合弁会社設立に向けた基本合意書を3月17日に締結本取組をもって国内の医療業界との関係深耕を図り、当社のサービス導入を強力に推進予定

FIXER
the Cloud native Company

GaiXer
Enterprise AGI Platform



学校法人 藤田学園

100%出資



フジタ・イノベーション・キャピタル
FUJITA・INNOVATION・CAPITAL

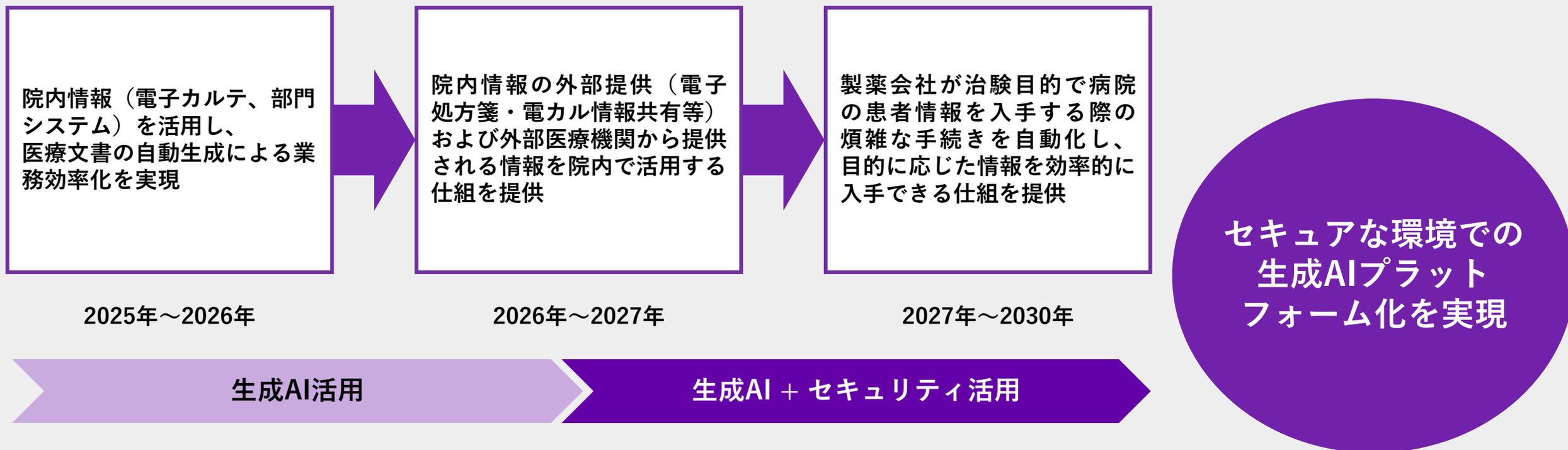
4月末を目途に合弁会社設立を協議中

※1 「医療DX令和ビジョン2030」… 2022年5月に公表された自由民主党政務調査会の提言を受け、厚生労働省が推進。医療DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進で医療の効率化や医療資源の適正な利用、創薬や新規医療機器の開発などの実現を目指すもので、主な内容として、①全国医療情報プラットフォームの創設 ②電子カルテ情報の標準化③診療報酬改定DXの取組などが挙げられている。

※2 藤田学園系列である藤田医科大学病院は、厚生労働省から電子カルテ情報共有サービスの「モデル事業予定地域」に選ばれた病院の一つ。病床数は1,376床で単一の病院としては国内最多。愛知県に2施設ある基幹災害医療センター、高度救命救急センター、特定機能病院その他の機能を有している。

FIXERが貢献する医療DXのロードマップ

医師の作業負担が大きい医療文書の作成支援から着手し、将来的には病院内にある様々な医療データを集約して2次利用を可能とする医療情報連携システムを構築することで医療DXに貢献していく



医療DX領域市場に本格的に参入

GaiXerを中心とした事業展開を通じて日本社会の生産性向上に貢献

労働生産性が低く、

テクノロジーによる生産性向上余地が
大きい業界をターゲット

- いまだにオンプレか台頭する産業
- 人的作業に依存している旧来型の産業



金融
勘定系システム

行政
ガバメントクラウド

GaiXer 医療
Enterprise AGI Platform
電子カルテ・レセプト

その他・製造業等

国民の生活基盤を支える産業にフォーカス

クラウド・AIの活用による生産性向上による
インパクトが大きく、付加価値の高い分野に集中

生成AI市場における優位性

激化する市場の中において、他社との競合優位性によって差別化を図る

➤ 当社の優位性

- ・ ISMAP-LIU特別措置サービスリストに登録、LGWAN対応等で公的機関向けの信頼性・安全性を証明
- ・ 医療業界・自治体など特定市場向けに最適化されたAIエージェント技術
- ・ 平均年齢20歳代という若いエンジニアの対応力と成長力で他社優位性を堅持

➤ 競合比較

	 	類似企業A	類似企業B
LGWAN	○	○	×
ISMAP-LIU 特別措置サービスリスト	◎	×	×
医療DX実績	◎	△	○
行政導入実績	○	◎	○

国内医療DXによる新しい市場

医療業界は、次世代医療システム、ヘルステックにシフトしながら新しく生まれ変わる市場

医療業界DXは2030年に5,207億円まで拡大すると予測

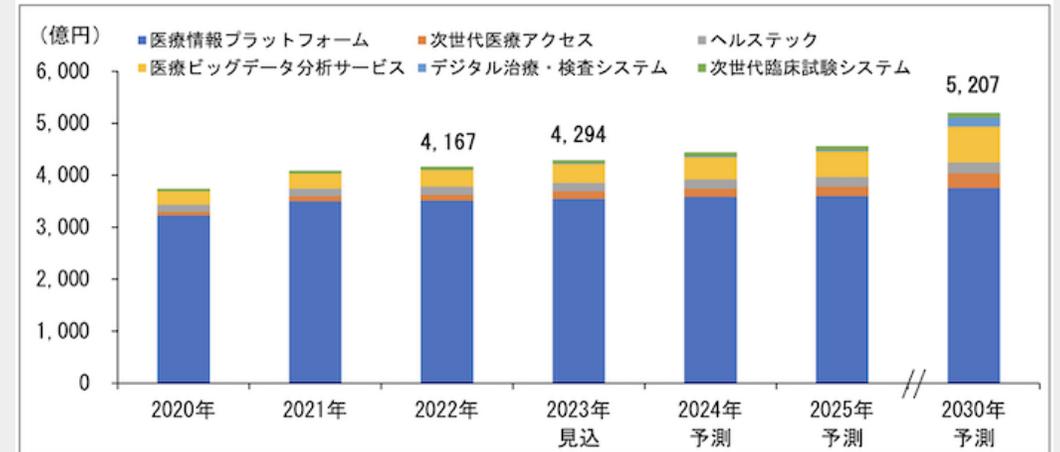
なかでもFIXERが参入する医療情報プラットフォーム領域は3,000億円以上の市場が予想される最も期待が大きい分野

当社の医療業界DXへの準備状況と今後の展望

	現状	2026年度（計画）
医療文書自動生成	α版開発済	全国展開
医療情報PF領域	α版開発済	各病院との提携
電子処方箋/ 治験情報管理	提携検討中	実用化開始



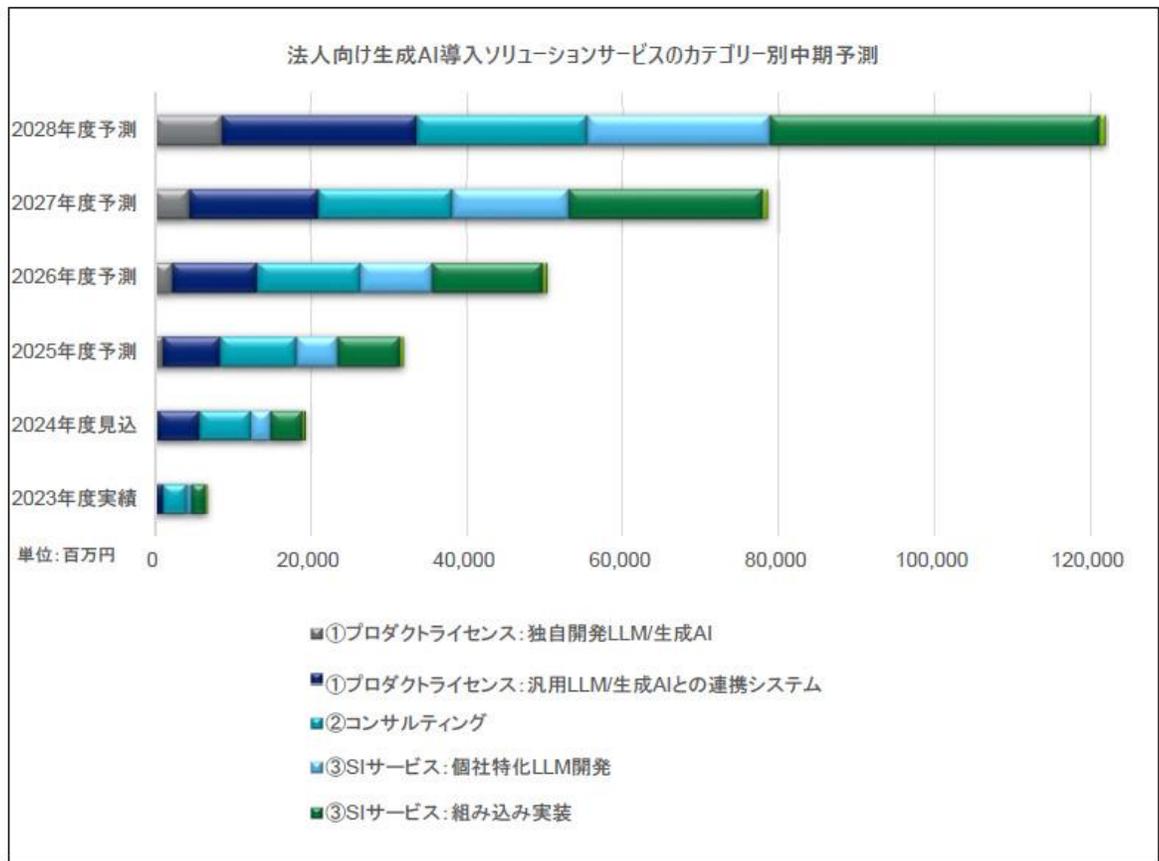
医療・ヘルスケアDX関連市場の市場規模



出典：富士経済「2023 医療・ヘルスケアDX関連市場の現状と将来展望」から抜粋（令和6年3月20日）

法人向け生成AI導入ソリューションサービスの市場拡大予想

法人向け生成AI市場全体においては、2025年度で319億円、2028年度は1,212億円の市場規模に達すると予測



04

GaiXerの進捗

事業構造転換の進展

2023年4月のGaiXerリリース以降事業構造変革に注力し、成長への足固めを行った

■GaiXerの質的進化

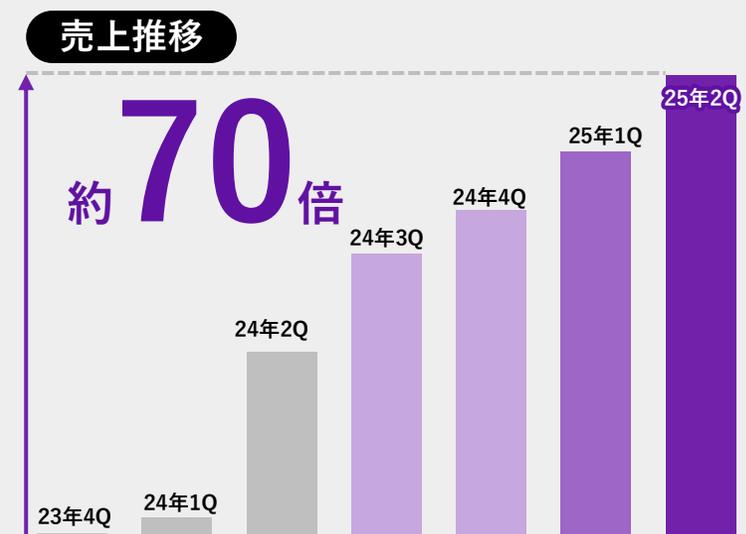
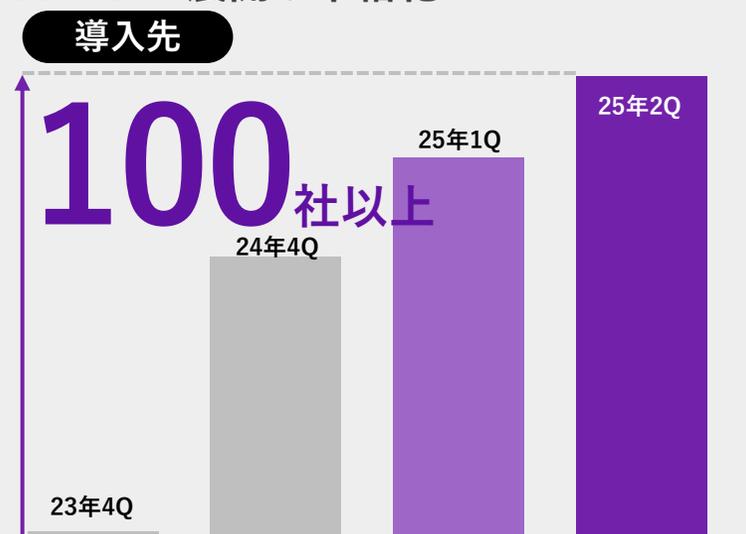
RAG性能向上、最新LLMの搭載の対応力、マルチモーダル対応
生成AIとしては国内初のISMAP-LIU特別措置サービスリストへの登録、LGWANへの対応
国内完結型サービス「GaiXer on さくらのクラウド」の実現によって信頼性を強化

■医療DX分野のサービス開発

オンライン資格確認、電子処方箋サービス等の医療DXの中核となる標準型電子カルテα版の開発
生成AIによる医療文書の自動作成を実現

■GaiXer利用の伸長

事業の成長ドライバーであるGaiXerの展開が本格化



GaiXer 導入事例

GaiXerはこれまで100社以上の企業様、官公庁、自治体等にご利用頂いており、どなたでも便利に活用可能できるUI/UXや、安全性とセキュリティに対してご評価いただいています

行政・地方自治体

- 茨城県笠間市
- 静岡県裾野市
- 愛知県名古屋市
- 大阪府大阪市
- 三重県伊賀市
- 三重県桑名市
- 鈴鹿工業高等専門学校
- 兵庫県姫路市
- 広島県呉市
- 香川県観音寺市
- 福岡県八女市
- 外務省
- 総務省

一般企業等

- NTTコミュニケーションズ
- 三十三銀行
- 栃木銀行
- 岡三証券
- DEPOC
- TYON
- ディレック
- ライズグループ
- 宮崎本店
- 釜屋
- 榎岡ダンス教室
- L&Mグローバルコンサルタンツ

三重県「令和6年度検索拡張生成AI利用環境提供業務」で採択

GaiXerが三重県の「令和6年度検索拡張生成AI利用環境提供業務」案件で採用されました



■概要

三重県が公募し、NTTコミュニケーションズ株式会社が受託した「令和6年度検索拡張生成AI利用環境提供業務」案件において、当社が提供する生成AIサービスGaiXerが採用されました。2025年1月27日より利用を開始し、業務効率化と生産性の向上を図ります。

三重県の職員が行う文章作成等の一般的な業務において、蓄積された情報を生成AIに学習させ、その情報等に基づいた回答を行うことができる検索拡張生成AIチャットボットの利用環境の構築・運用を行います。

※当社プレスリリースより抜粋

鈴鹿高専で導入開始

GaiXerが鈴鹿高専で導入、生成AI講座での取り組みを契機に教職員の生成AI活用を推進します



■概要

鈴鹿工業高等専門学校（所在地：三重県鈴鹿市、校長：藤本 慎司、以下鈴鹿高専）にて、GaiXerが2025年2月3日より導入されました。本取り組みは2025年8月まで実施する予定です。

今回の提供は、2024年5月から約1年間に渡り鈴鹿高専で開講された生成AI講座におけるFIXERの取り組みが契機となりました。同講座では、FIXERが授業計画を策定し、社員が講師として参加。学生たちにAI技術の基礎や応用について知識を提供しました。

「生成AI講座」の開講は、高専内で生成AI活用の機運を高める役割を果たし、教職員向けのGaiXer導入に繋がりました。今後は、導入トレーニングなどを通じて、鈴鹿高専におけるGaiXerの活用方法について検討していく予定です。

FIXERは今回の取り組みを通じて、鈴鹿高専教職員の生成AIの利活用を支援するとともに、教育機関における生成AI活用の推進に努めてまいります。

※当社プレスリリースより抜粋

05

AI SaaS元年の成長戦略

生成AIとSaaSの世界市場は、驚異的な成長が予想される



GaiXerの成長可能性と信頼性

現在、世界の生成AI市場の勢いを生み出しているのはOpenAIやAnthropicといった「AIパワーハウス」や「AIジャイアント」と呼ばれる巨大な資本力を背景に、驚異的なスピードで進化する企業群とMicrosoft、AWS、Googleといったパブリッククラウドのプラットフォーマーもサービスを進化させています

一方、エンタープライズシステムに信頼性が求められる日本市場では、現場での生成AI利用のためのプラットフォーム開発にグローバル基準のクラウドネイティブな技術力が求められています。この点において、創業以来クラウドネイティブな開発にこだわってきた我々FIXERの「GaiXer」は、日本社会における生成AI活用の一翼を担うと確信しております

GaiXerの応用事例

営業・マーケティング	文案制作、顧客分析
開発	コードの自動生成、バグの自動検出、ソフトウェア開発の効率化
教育	個別学習の支援、教材の自動生成、教育効果と質の向上
クリエイティブ	音楽、画像、動画コンテンツの自動生成、クリエイティブ力の向上

新展開

GaiXerをフラッグシッププロダクトと位置づけ、次世代のプラットフォーム事業を展開する



出典 ※1 2024年3月 2024年版 MedTech市場調査レポート
※2 2024年1月 金融DX戦略レポート2024-2028
※3 2024年11月12日 石破首相発表

「自動化適用×生成AI活用」による利益率の向上

大規模プロジェクトにGaiXerを活用することで自社のコスト削減を実行し、生産性を向上
クラウド化によって実現してきた自動化の適用範囲をさらに広げていくことで利益率を向上

自動化の範囲	手法	自動化による恩恵
インフラ構築 (Infrastructure as Code; IaC)	<ul style="list-style-type: none">クラウドインフラの構築・設定から正常稼働確認までのプロセスをプログラムで記述	<ul style="list-style-type: none">手作業で実施していた作業を自動化することで、提供期間短縮・工数削減と共に、安定性が向上
インフラ運用	<ul style="list-style-type: none">障害発生時には深刻度を自動判定して通知AIで障害予兆を検知し、障害を未然に防止	<ul style="list-style-type: none">保守・運用の工数を削減し、運用品質が向上 (オンプレ時代の労働集約型からの脱却)
マイグレーション	<ul style="list-style-type: none">クラウド移行(マイグレーション)案件の既存システムのアプリケーション移行において、機械学習による自動変換を実施	<ul style="list-style-type: none">手作業による変換に比べて、期間・費用を大幅に抑えた上に、変換品質が向上
テスト	<ul style="list-style-type: none">自動的にテストケースやテストデータを生成し、アプリケーション更新後にテストを自動実行	<ul style="list-style-type: none">短いサイクルで実装・テストを繰り返す アジャイル開発における開發生産性の向上

生成AIによる更なる生産性向上

AIエージェント化の事例 ①（香川県観音寺市）

LINEのChat BOT機能にGaiXerを提供し、観音寺市民のQ&AのAIエージェント機能として定着

観音寺市
LINE 友だち募集中

観音寺市から情報をお届けします!

あなたの欲しい情報がメッセージで届く!

選べる配信情報

- 市からのお知らせ
- 防災・災害
- 防犯
- 健康・福祉
- 育児
- イベント関連
- 道路・交通
- 農林・漁業
- 議会情報

QRコードで登録
「友だち追加」の「QRコード」から

検索で登録
アプリ内の「公式アカウント」から
観音寺市 で検索

観音寺市政策部秘書課 《電話番号》 0875-23-3915 《メール》 kouhou@city.kanonji.lg.jp

【GaiXerのエージェント活用】

観音寺市のLINEにおいて、問い合わせ機能を持った「銭形君に聞いてみよう」の裏側にChat BOT機能としてGaiXerを提供。観音寺市民の質問に対して、適切な学習機能データを判断し、回答が生成される。

【エージェント化による効果】

職員の方の業務を削減し、市民にも適切な回答をお届けすることができる機能を実装。市民への迅速なサービスを提供している。

GaiXerのAIエージェント利用の第一弾にあたり、現在も活用いただいている

AIエージェント化の事例 ② 医療業界DX

院内の情報を元にしたサマリ文書の作成を実施中。今後は院内情報サマリーの自動生成が増加するほど生産性が上がり、AIエージェントプラットフォーム化が進む



①データのクラウド移管 ②アプリケーション開発 ③GaiXer生成AIプラットフォームを融合させることで、進化したAIエージェントを提供開始。今後の医療DXの中で大きな需要を見込むサービスとして、医療業界からも注目が集まっている。

006

Appendix

ビジネスモデル

- ▶ プロジェクト型サービスによってクラウドネイティブなシステムを構築
- ▶ クラウドやソフトウェアのライセンスをリセールし、マネージドサービス(保守・運用・エンハンス開発)を提供
- ▶ 顧客ニーズの高い機能をプラットフォーム化したSaaS事業も展開

プロジェクト型サービス

新規システムをクラウドネイティブに開発



既存システムのクラウド移行



マネージドサービス

完成したエンタープライズクラウドシステムを
マネージドサービスにより保守・運用・エンハンス開発



SaaS

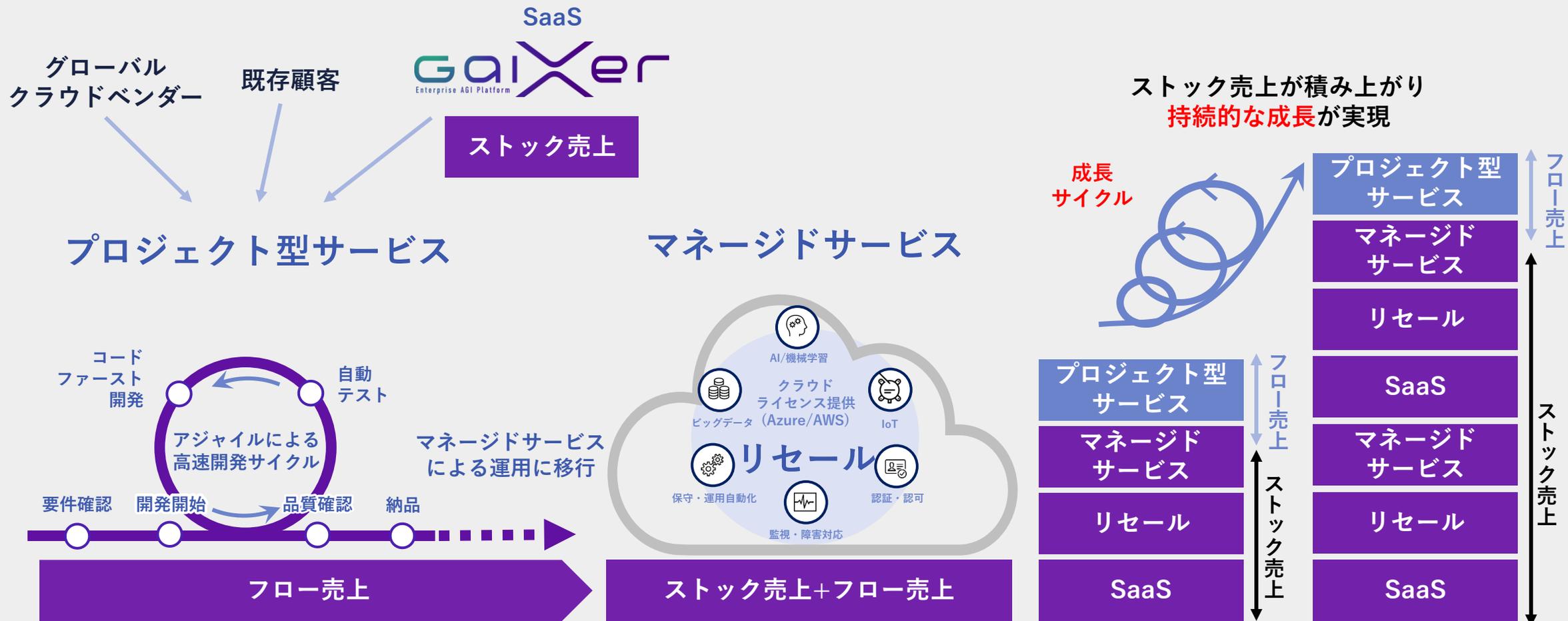
顧客ニーズの高い機能をプラットフォーム化
高付加価値のSaaSとして提供

GaiXer
Enterprise AGI Platform

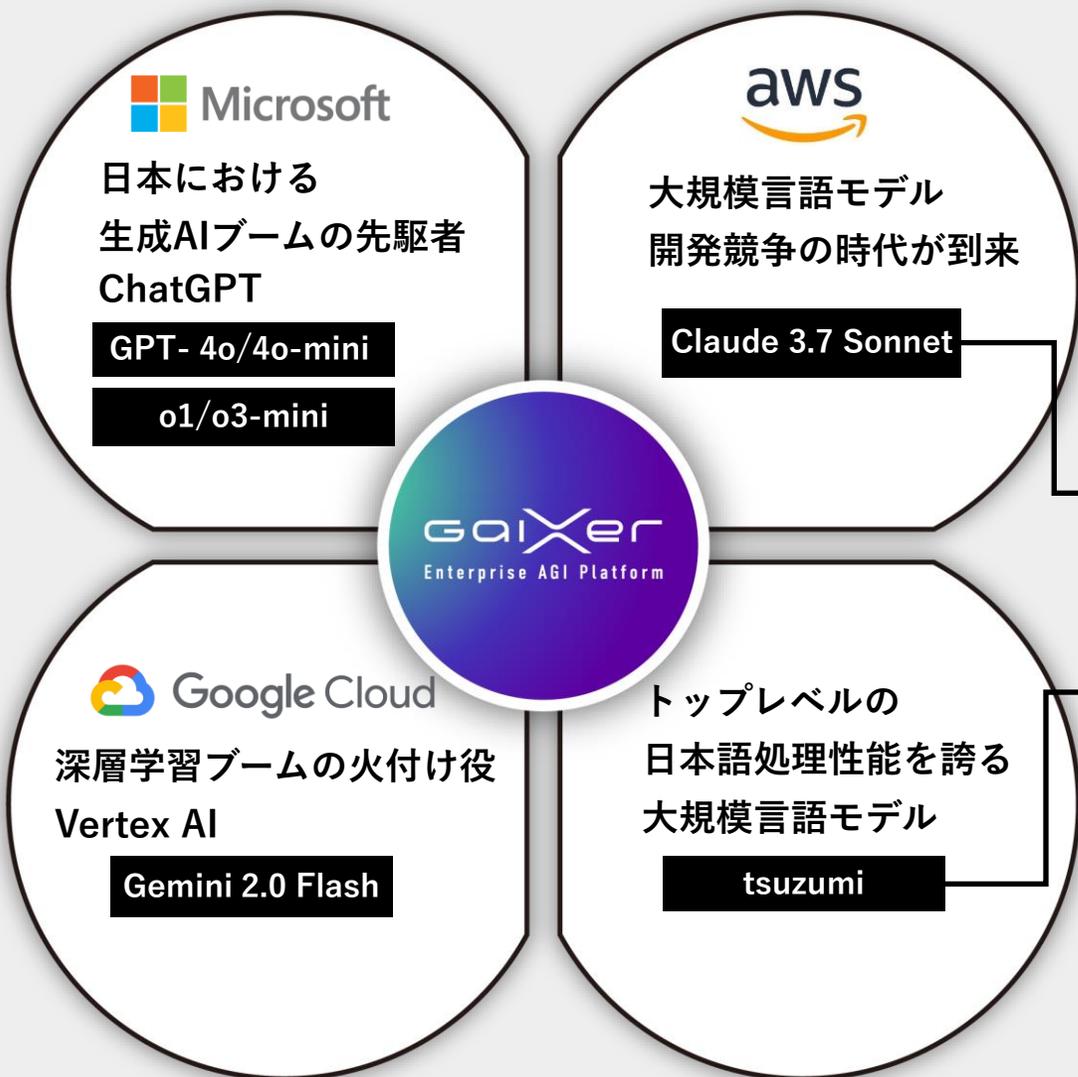
Microsoft Azure上のセキュアなネットワーク環境で駆動し、専用環境で学習・生成を行うエンタープライズ向けAGIプラットフォーム

ビジネスフロー

- ▶ グローバルクラウドベンダーや既存顧客からの紹介でプロジェクト型サービスを受注
- ▶ プロジェクト型サービスで開発したシステムはリセールとマネージドサービスに移行しストック売上へ
- ▶ マネージドサービスでは、顧客ニーズに対応したエンハンス開発（機能追加）も提供しており、一部フロー売上が発生



GaiXerの特徴



GaiXer Enterprise AGI Platform は業務に最適なLLMを順次追加搭載

複数LLMのいいとこどりが可能

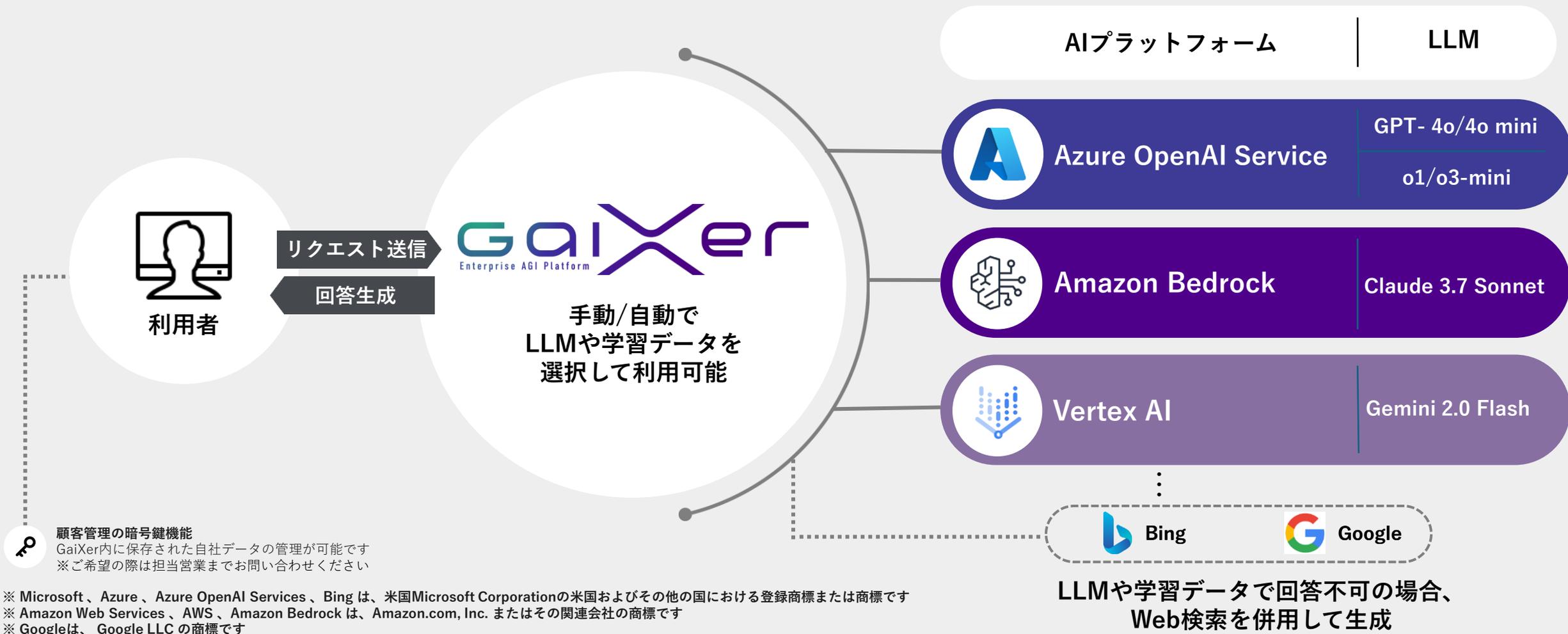
史上初のハイブリッド推論モデルにより、一般的な質問や簡単な文章生成に対しては即時回答を行い、ビジネスの意思決定補助などのリクエストに対しては深い思考に基づいた回答を行うことが可能。
また、SWE-benchで最高スコアを記録したコーディング能力を用いて開発者の開発タスクを強力にサポート

NTTの長年にわたる自然言語処理技術の研究成果を基に開発されたLLMであり、高い日本語の自然言語処理能力を持ちつつ、低消費電力で動作することが特徴

※Microsoft、Azureは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※Amazon Web Services、AWSは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
※その他記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

マルチクラウドで高い可用性と生成品質を実現

ベンダーロックインを防ぎ、Azure、AWS、Vertex AIの3つのプラットフォームで提供可能



顧客管理の暗号鍵機能
GaiXer内に保存された自社データの管理が可能です
※ご希望の際は担当営業までお問い合わせください

※ Microsoft、Azure、Azure OpenAI Services、Bing は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です
※ Amazon Web Services、AWS、Amazon Bedrock は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です
※ Googleは、Google LLC の商標です

LLMや学習データで回答不可の場合、
Web検索を併用して生成

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、
現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。
既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、
将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

従って、当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

FIXER
the Cloud native Company

GaiXer
Enterprise AGI Platform